

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町地域	青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町	平成25～令和元年度	平成25～令和元年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標		現 状 (割合※1) (平成23年度)	目 標 (割合※1) (令和2年度) A	実 績 (割合※1) (令和2年度) B	実績B/ 目標A※2
排出量	事業系 総排出量	11,899 t	9,630 t (-19.1%)	11,913 t (0.1%)	-0.5%
	1事業所当たりの排出量	3.2 t	2.9 t (-9.4%)	5.0 t (56.3%)	-599.0%
	家庭系 総排出量	73,166 t	63,725 t (-12.9%)	68,848 t (-5.9%)	45.7%
	1人当たりの排出量	192 kg/人	158 kg/人 (-17.7%)	189 kg/人 (-1.6%)	9.0%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	85,065 t	73,355 t (-13.8%)	80,761 t (-5.1%)	37.0%
再生利用量	直接資源化量	7,209 t (8.5%)	7,301 t (10.0%)	7,016 t (8.7%)	13.3%
	総資源化量	33,988 t (36.8%)	32,644 t (40.4%)	28,993 t (34.2%)	-72.2%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	6,443 MWh	6,350 MWh	14,812 MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	273 t (0.3%)	256 t (0.3%)	0 t (0.0%)	0.0%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績B /目標A※3
総人口					—
公共下水道	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口				%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	学校、地域でのごみ減量化等に係る教育活動の実施	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	組合構成市町では更に3Rの啓発普及に対し、支援活動を行っている。	平成25年度～令和元年度  (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市】</b> 教育活動（出前講座・ごみ減量講座・施設見学・中学校体験学習）を実施するとともに、「青梅市こどもごみ減量資源リサイクルハンドブック」を市内全校の小学校4年生に配布し、ごみ減量化について啓発を実施した。</p> <p><b>【福生市】</b> 市内小学校の小学4年生を対象に、副読本「ごみのゆくえ」を配布した。また、リサイクルセンターでは施設見学会や中学生の職場体験実習生を受入れ、体験学習を通じて環境教育を推進した。さらに、小学生対象のごみの散乱防止と3Rを進めるためのポスター・標語コンテストや、地域団体を対象にした分別方法の説明会等を実施し、3Rの普及啓発活動を実施した。</p> <p><b>【羽村市】</b> 環境教育の一環として、小学校4年生を対象とした社会科副読本に「ごみのはなし」を掲載するとともに、ごみ処理施設見学会や中学生の職場体験を実施し、ごみに関する意識啓発に努めた。また、「まちづくり出前講座」のメニューにおいて、ごみに関する項目を設け、市民の自主的な学習活動を支援した。</p> <p><b>【瑞穂町】</b> みずほリサイクルプラザで小学生の社会科見学、中学生の職場体験、横田基地交流会等の施設見学を受入れごみ減量化等に係る啓発活動を実施した。教育委員会では、食品ロス削減のリーフレットを町公式サイトに掲載し、理解促進を図った。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	12	生ごみ処理機等の利用促進	青梅市 福生市 羽村市	キャンペーン等により啓発活動を行う。	平成25年度～令和元年度 (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市】</b> ダンボールコンポストを利用した、生ごみ堆肥化講習会を実施した。</p> <p><b>【福生市】</b> 生ごみ堆肥化容器の無償貸与及び生ごみ処理機器購入費補助金の交付を実施した。また、市主催のイベント時や、市広報、清掃だより等を通じた啓発活動を実施し、利用を促進した。</p> <p><b>【羽村市】</b> 家庭用生ごみ処理容器等購入費助成制度を導入し、生ごみ処理機等の利用促進を図った。また、市民団体との協働によるダンボールコンポストを利用した生ごみ堆肥化講習会を開催し、受講者を対象としたモニター制度を実施した。</p>
	13	マイバック持参運動の推進	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	持参運動を推進し、レジ袋の排出抑制を図る。	平成25年度～令和元年度 (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市】</b> マイバックの持参の推進等呼びかけるごみ減量啓発運動を実施した。令和元年度にはレジ袋有料化に先立ち、街頭にてマイバックキャンペーンを実施し、マイバックの配布を通じた普及啓発を行った。</p> <p><b>【福生市】</b> 市主催のイベント時におけるマイバッグの配布や、市広報等を通じてマイバッグ持参推進の啓発活動を実施し、レジ袋の排出抑制に努めた。</p> <p><b>【羽村市】</b> 広報紙等にレジ袋有料化の記事を掲載し、市民への啓発活動を実施するとともに、各種イベントにおいてマイバックを配布し、マイバック持参運動を推進した。廃棄物減量等推進員会議にてレジ袋有料化チラシを配布し、啓発活動を実施した。</p> <p><b>【瑞穂町】</b> マイバック持参推進に関する協定参加事業者を訪問し、マイバック持参運動の推進の協力依頼をした。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	14	事業者への食品廃棄物自主ルート開発促進	青梅市 福生市	事業者に対し、食品廃棄物の自主回収ルートを商工会等の協力により確立し、バイオマス利用を促進する。	平成25年度～ 令和元年度  (平成25年度～ 令和元年度)	<p>【青梅市】 事業者に対し、廃棄物の適正処理について適宜指導を行った。</p> <p>【福生市】 事業者に対して、廃棄物・再利用物処理計画書の提出を依頼し、燃やせるごみに含まれる食品廃棄物の減量・資源化への働きかけを実施した。また、商工会報に食品廃棄物の適切な分別排出と独自リサイクルルートの確立推進の記事を掲載し、資源化を促進した。</p>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	分別の徹底による資源化の向上	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	キャンペーン等により啓発活動を行う。	平成25年度～ 令和元年度  (平成25年度～ 令和元年度)	<p>【青梅市】 広報、リサイクル通信、ごみ収集カレンダーなどで、ごみの分別方法の案内記事を掲載した。 2019年(令和元年)8月より、AIチャットボットによるごみの分別案内を開始した。</p> <p>【福生市】 2014年(平成26年)4月からの収集体制変更により、品目の追加及び収集回数の変更を実施し、適正な分別による資源化の推進を図った。また、「福生市のごみと資源の分け方・出し方(9か国語)」パンフレット及びカラー版「福生市ごみ・資源分別一覧」を作成し、適正な分別排出に向けた取組を実施した。</p> <p>【羽村市】 定期的に庁舎ロビーを活用し、ごみ分別方法の展示を実施した。また、広報紙等へごみ関連の記事を掲載し、市民への啓発活動を実施した。</p> <p>【瑞穂町】 ごみ・資源物収集カレンダー、広報みずほ、町公式サイトを活用した啓発を実施した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	22	剪定枝の資源化推進	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	広報紙やイベントを通じて啓発する。	平成25年度～令和元年度  (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市】</b> リサイクルセンターにて剪定枝をチップ化し、市民に配布した。広報を通じて、資源化促進の啓発を行った。</p> <p><b>【福生市】</b> 剪定枝の出し方等について、ごみ・リサイクルカレンダーや清掃日より、地域団体を対象にした分別方法の説明会等を通じて、広く市民に周知した。また、収集した資源化可能な剪定枝は、事業者へ処理委託し資源化を図った。</p> <p><b>【羽村市】</b> 広報紙等を活用し、剪定枝の排出方法等について掲載した。また、粗大ごみとして排出された剪定枝をチップ化し、市民に無料配布及び西多摩衛生組合で使用する活性炭の原料として活用することで剪定枝のリサイクルの推進を図った。</p> <p><b>【瑞穂町】</b> 広報みずほ、町公式サイト等を活用し、適正排出に関するPRを行った。また、粗大ごみとして排出された剪定枝はチップ化し隣接する「みずほエコパーク 散策路」や「ドッグラン」の整備に利用した。</p>
	23	陶磁器、ガラス等の資源化	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	資源化にする方法を検討する。	平成25年度～令和元年度  (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市】</b> 2014年(平成26年)10月から資源化を開始、2018年(平成30年)4月からガラス及び陶磁器の分別収集を開始した。</p> <p><b>【福生市】</b> 燃やせないごみや粗大ごみなど、リサイクルセンターの中間処理後に発生する不燃残渣について、平成29年度より資源化事業者へ処理を委託し、全量資源化を実施した。</p> <p><b>【羽村市】</b> 埋立処分していた陶磁器、ガラス等の不燃物を再資源化事業者に委託し、資源化の推進に取り組んだ。</p> <p><b>【瑞穂町】</b> ガラス類は民間業者で資源化を実施した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	24	厨芥類の水切り励行	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	広報紙やイベントを通じて啓発する。	平成25年度～令和元年度 (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市】</b>            広報、ごみ収集カレンダーなどに水切り励行の啓発文を記載するとともに、市公式サイトにおいて「水切りのコツ」の記事を掲載し、啓発を行った。</p> <p><b>【福生市】</b>            市広報、清掃だより等を通じて、生ごみの水切り励行の記事を掲載したほか、市主催のイベント時に水切りネットを無料配布し、啓発活動を実施した。</p> <p><b>【羽村市】</b>            広報誌等に水切り励行等の記事を記載し、啓発活動を実施した。</p> <p><b>【瑞穂町】</b>            広報みずほ、町公式サイトを活用し、水切り励行に関するPRを実施した。</p>
処理施設の整備に関するもの	1	ごみ焼却施設の基幹改良整備事業	西多摩衛生組合	基幹改良工事によりエネルギーの効率回収・有効利用の推進とCO <sub>2</sub> の排出抑制をする。	平成25年度～令和元年度 (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【組 合】</b>            CO<sub>2</sub>削減及び施設の延命化を目的に基幹的設備改良工事を実施した。CO<sub>2</sub>削減率は、当初計画では「約 20.0%」を見込んでいたが「約 59.8%」の削減をした。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
その他	41	再生利用品の 需要拡大事業	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	行政、住民、事業者が再生品利用について普及啓発を図る。	平成25年度～令和元年度  (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市】</b> リサイクルショップにて、粗大ごみの再生利用品を販売するとともに、広報においてリサイクルショップの利用を呼び掛ける記事を掲載した。</p> <p><b>【福生市】</b> リサイクルプラザでの粗大ごみの再生利用品の販売及び市主催のイベント時における再生利用品の展示に加えて、清掃だより等でリサイクルプラザを紹介し、広く市民に周知した。また、市独自の環境マネジメントシステムの活用による行政の率先した再生品の利用促進、市民、事業者に対しては、ごみ・リサイクルカレンダー等にグリーン購入、再生品利用の記事を掲載し、利用拡大を図った。</p> <p><b>【羽村市】</b> 広報誌等を活用し、羽村市リサイクルセンター内にある「リサイクルショップ」のPRに努め、再生利用の促進を図った。</p> <p><b>【瑞穂町】</b> みずほリサイクルプラザでリサイクル品の販売を随時実施した。また、産業まつりでもリサイクル品の販売を行い、みずほエコパークフリーマーケットを開催した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	42	家電リサイクル法に関する普及啓発	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	家電リサイクル法による処理体制の普及啓発。	平成25年度～令和元年度  (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市】</b> 青梅産業観光祭において、ブースで啓発チラシを配置し、普及啓発を実施した。広報、ごみ収集カレンダー、市公式サイトなどに家電リサイクル法による収集の周知を行う記事を掲載した。</p> <p><b>【福生市】</b> ごみ・リサイクルカレンダーや市広報、清掃だより等に、家電リサイクル法対象製品の排出方法、排出場所等に関する記事を掲載し、適切な排出に向けた普及啓発を実施した。</p> <p><b>【羽村市】</b> チラシの作成や市の公式サイト・資源リサイクルマニュアルに記事を掲載し、家電4品目の適正排出に関する普及啓発を実施した。</p> <p><b>【瑞穂町】</b> ごみ・資源物収集カレンダーや町公式サイトで家電4品目の適正排出に関する普及啓発を実施した。</p>



施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	43	不法投棄対策	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	パトロールの強化等を図る。	平成25年度～令和元年度  (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市】</b> 市職員による不法投棄巡回パトロールを実施するとともに、広報誌に「不法投棄は犯罪です」の記事を掲載した。また、市民の要望に基づき、随所に不法投棄防止の立て看板を設置した。</p> <p><b>【福生市】</b> 不法投棄禁止啓発用看板を作成し市民に無料配布した。また、マナーアップ指導員による駅周辺の清掃活動や美化指導等の実施や、不法投棄現場の改善等に向けた職員による指導、助言、定期的なパトロールを実施し、防止対策の強化を図った。</p> <p><b>【羽村市】</b> 不法投棄監視ウィークを設定し、パトロールを実施するとともに、不法投棄された土地の所有者等へ不法投棄防止の看板を貸与し、不法投棄の未然防止に努めた。</p> <p><b>【瑞穂町】</b> 町嘱託員による環境パトロールを実施し不法投棄の警戒に当たった。住民の希望者には不法投棄防止の看板を配布した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	44	災害時の廃棄物処理体制の整備	青梅市 福生市 羽村市 瑞穂町	災害廃棄物処理計画等の策定や、近隣市町村との連携した処理体制の構築を検討。	平成25年度～令和元年度  (平成25年度～令和元年度)	<p><b>【青梅市・福生市・瑞穂町】</b>  災害廃棄物の広域的な処理体制等の構築に向け、組合構成市町と連携して災害廃棄物処理計画の策定に向けた検討を実施した。また、し尿処理は、東京都下水道局と締結した「災害時における水再生センターへのし尿搬入及び受け入れに関する覚書」に基づき、事業者とともに訓練に参加し実践演習を実施した。</p> <p><b>【羽村市】</b>  羽村市地域防災計画において、がれき等の処理を計画的に進める手順等について定めているが、災害廃棄物の広域的な処理体制等の構築に向け、組合構成市町と連携して災害廃棄物処理計画の策定に向けた検討を実施した。また、し尿処理は、東京都下水道局と締結した「災害時における水再生センターへのし尿搬入及び受け入れに関する覚書」に基づき、事業者とともに訓練に参加し実践演習を実施した。</p>

### 3 目標の達成状況に関する評価

(ごみ処理)

#### 【排出量】

- ・事業系総排出量については、目標の 9,630トン に対し、実績が 11,913トン であり、目標を達成することができなかった。

目標に至らなかった主な要因を以下にまとめる。

- 平成27年度以降の民間資源化施設の搬入量制限等が一因と考えられ、減量化・資源化への指導及び助言等を実施したが、減量化が促進しなかった。
- 高齢化に伴う介護施設の増加により事業系の紙おむつ等のごみが増加した。
- 生ごみのたい肥化等のリサイクルに取り組んでいた排出事業者が、たい肥化施設の閉鎖等により排出先を焼却処分に変更したことが考えられる。また、事業系一般廃棄物処分費に対して民間資源化施設等処分費が高額なことによる資源化施設への搬入縮小及びごみ減量効果が低減したこと等が考えられ、さらに、費用面から食品リサイクルへの取り組み等が浸透していかなかった。

- ・家庭系総排出量については、目標の 63,725トン に対し、実績が 68,848トン であり、目標を達成することができなかった。

目標に至らなかった主な要因を以下にまとめる。

- 近年は減量傾向で推移をしていたが、下げ止まりの状況下に加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての「新しい生活様式」への変更等により家庭から排出されるごみが増加した影響が大きいと考える。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛で飲食店からのテイクアウトやデリバリー（配達）が増えたことによる、弁当容器やランチボックス、カップなどの家庭から出る容器包装プラスチックごみの増加や自宅で過ごす時間が多くなったことによる片付けごみや粗大ごみの増加を始めとする、ごみ量全体が増加したことが考えられる。

#### 【再生利用量】

- ・総資源化量については、目標の 32,644トン に対し、実績が 28,993トン であり、目標を達成することができなかった。

目標に至らなかった主な要因を以下にまとめる。

- ごみの減量に伴い残渣からの資源化量が減量した。また、資源物処理量の約50%を占める古紙のうち、特に、電子媒体の普及やライフスタイル等の変化による新聞・雑誌類の排出量が減量したことが考えられる。
- 集団回収についても同様に、古紙の搬出量が大きく減量した。また、生ビン利用の減少によるビン類等の減量に加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止による資源回収量の減量等が考えられる。

#### 【エネルギー回収量】

- ・エネルギー回収量については、目標の 6,350MWh に対し、実績が 14,812MWh であり、目標を達成することができた。

- 基幹的設備改良工事により、送電（売電）設備の整備や発電出力の増強などを実施した結果、発電電力量が大幅に増加した。

#### 【最終処分量】

- ・最終処分量については、目標の 256トン に対し、実績が 0トン であり、目標を達成することができた。

- 陶磁器やガラス等を再資源化施設で処理をすることで、全量資源化（埋立量 0 トン）することができた。

(都道府県知事の所見)

事業系ごみの排出量については、総排出量・1事業所当たりの排出量ともに、計画立案当初を上回る数値で目標未達成となった。これは、高齢化や施設の閉鎖、新型コロナ感染対策の影響等様々な要因があるが、低コスト施設へ流れた結果の排出量増加ということであれば、処理フローや減量化・資源化の取組について再検証する必要があると考える。

家庭系ごみの排出量についても、総排出量・1人当たりの排出量ともに目標値を上回り未達成となったが、こちらは計画立案当初からは減量化されており、新型コロナ感染対策に伴う片付けごみの増加等を考慮すると、やむを得ない数値であると考ええる。

再生利用量については、直接資源化量・総資源化量ともに目標未達成となったが、この要因は人口減やペーパーレス化の進行及びプラ・ビン・缶等資源物自体の重量減であると考えられる。今後もペーパーレス推進等が見込まれるため、次回計画立案時には精査することが必要と考える。

エネルギー回収量については、目標値を大幅に上回る数値での達成となった。これは、基幹的設備改良工事により施設整備が行われたことが要因であり、今後も引き続き効率的なエネルギー回収が期待できる。

西多摩衛生組合及びその構成団体である青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町では、ごみ発生抑制及び減量化に向け、ホームページや広報等での情報発信や出前講座等の環境学習、リサイクルの普及啓発に向けたキャンペーンなどを行っており、今後もこうした施策を継続的に遂行することで住民への普及啓発が進むことを期待する。